昨年の冬は、ずっとゲンキに抱かれで過ごしたキンタロウ。今年初めてきちんと冬を体感しています。暖冬と言われる今年ですが、小さいキンタロウには寒さが覚えるらしく、冷え込む朝はゲンキから離れません。

「はん」と杖の腕にはつかまりにくいので、頑張って足にしがみついています。自分で歩くときは足の指をギュッと締め、なるべく足の裏が地面につかないようにしています。ヒトと同じですね( ^=^*) 先日は初めて雪も経験しました。本人は望んでいなかったと思いますが、父や兄が、はんは食べたいけど今日は出ていきたくないですね！と主張する中、寒さや雪よりも、私ははんが食べたいの！！という意志の強い母に連れられて雪の中へ出ていきました（笑）次々降ってくる白い物体を、母にしっかりしがみつきながら不思議そうに見ていました。最近はお昼ごはんを食べに外に行きたい母に毎日抵抗し、先日はゲンキが折れて室内にモモタロウとキンタロウを置いて、一人で青草を取りに行ってきました！！それで、その間キンタロウは温かい室内で、父の養ましさそうな模様を受けながら、担当者からリンゴをもらっていました (^_^; 寒い冬も、キンタロウなりに賢く要領よく乗り切っています☆
少しずつ復帰しています

チンタロウが生まれてからハズバンダリートレーニングを育休していたゲンキ。チンタロウを抱きながらできることだけやるという時期を経てようやくチンタロウを離してトレーニングに応じるようにになってきました。そして、急成長も！以前は、右肩を出したら次は左肩というように、体の向きを変えができなかったのですが、復帰してからなぜか急にできるようになったのです(㌔ゎ)ゲンキは若いモノタロウやゲンタロウと比べると、理解力や吸収力のあるタイプではないのですのがこれまでできなかったことが、ここ数年でいくらかできるようになるなど、ゲンキなりに頑張っています！大事な息子たちのおかげでトレーニングができない、できても集中できない……ということを多々あるのですが(笑)、これからも少しずつできることを増やしていきたいと思いますよ！

11年ほどトレーニングを休んでいたが、以前できたことはちゃんと覚えているのです☆

～今回の一枚～

父と息子

以前から、麻袋を敷いた上に座るのが好きなモノタロウ。ある日の収容前、グラウンドに出ていたゲンタロウを見ると、モノタロウと同じように麻袋に座っていました(＾＾；父ちゃんを見て使い方を学んだようです(笑)